

前回分科会(2月21日)での集計結果に関する指摘事項について

1. 施設特性調査の集計結果

(1) 病床数と入院患者数の変化の集計について

一般病床の「(再掲)特殊疾患療養病棟」の病院数は、平成17年11月と平成18年11月で3病院なのに病床数が1.0→2.4と増加している。どのような状況なのか説明して欲しい。(前回分科会資料「診調組 慢-2 別紙1」の1頁)

【回答】

平成17年11月の一般病床の「(再掲)特殊疾患療養病棟」の病院数、病棟数、病床数、入院患者は、それぞれ、3病院、3病棟、79病床、76人であった。

一方、平成18年11月では、3病院、4病棟、193病床、188人で、全体で114床の増床であった。

病院別にみると、病床数を減らした病院は、2病院で39床、増やした病院は2病院で153床、変わらずが1病院で、40床であった。

一般病床の特殊疾患療養病棟の病床数等変化の状況

平成17年11月30日				平成18年11月30日			
病院	病棟数	許可病床数 総数	入院患者数 総数	病院	病棟数	許可病床数 総数	入院患者数 総数
-	-	-	-	A病院	2	93	91
B病院	1	29	29	-	-	-	-
C病院	1	40	37	C病院	1	40	40
D病院	1	10	10	-	-	-	-
-	-	-	-	E病院	1	60	57
3病院	3	79	76	3病院	4	193	188

2. 病院長に対する基本事項に関する調査の集計結果

(1) 患者分類(11分類)に対する総合評価について

総合評価について不相当と回答した病院と各医療区分項目に対する評価との関係性を明確化して欲しい。(前回分科会資料「診調組 慢-2 別紙2」の1頁)

【回答】

各医療区分項目に対する評価について、全病院の集計と患者分類(11分類)に対して総合評価が「やや不相当」、「不相当」と回答した病院(49病院)とに分けて集計を行った。

「やや不相当」「不相当」と回答した49病院の割合が全体での割合より大きい項目は(割合差10%以上)、「24時間持続点滴」、「リハビリテーション」、「体内出血」、「喀痰吸引」であった。

各医療区分項目に対する否定的評価(全体及び総合評価不相当別)

	全体	全体(n=82)		不相当(n=49)		割合の差%
		件数	割合%	件数	割合%	
	全体	82		49		
1	スモン	31	37.8	23	46.9	9.1
2	医師及び看護師による24時間体制での監視・管理を要する状態	27	32.9	19	38.8	5.8
3	中心静脈栄養(消化管異常、悪性腫瘍等による消化管からの栄養摂取が困難な場合)	20	24.4	14	28.6	4.2
4	24時間持続点滴	31	37.8	24	49.0	11.2
5	レスピレーター使用	9	11.0	6	12.2	1.3
6	ドレーン法・胸腹腔洗浄	15	18.3	11	22.4	4.2
7	発熱を伴う場合の気管切開、気管内挿管のケア	22	26.8	16	32.7	5.8
8	酸素療法(安静時、睡眠時、運動負荷いずれかでSaO290%以下)	15	18.3	9	18.4	0.1
9	感染隔離室におけるケア	16	19.5	13	26.5	7.0
10	筋ジストロフィー	12	14.6	7	14.3	-0.3
11	多発性硬化症	12	14.6	7	14.3	-0.3
12	筋萎縮性側索硬化症	13	15.9	7	14.3	-1.6
13	パーキンソン病関連疾患(パーキンソン病についてはヤールの分類Ⅲ、日常生活障害Ⅱ度以上)	13	15.9	7	14.3	-1.6
14	その他神経難病(スモンを除く)	14	17.1	9	18.4	1.3
15	神経難病以外の難病	12	14.6	7	14.3	-0.3
16	脊髄損傷(四肢麻痺がみられる状態)	17	20.7	11	22.4	1.7
17	肺気腫／慢性閉塞性肺疾患(COPD)(Hugh Jones V度の状態)	19	23.2	12	24.5	1.3
18	疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍	25	30.5	18	36.7	6.2
19	肺炎	18	22.0	11	22.4	0.5
20	尿路感染症(「発熱」、「細菌尿」、「白血球尿(>10/HPF)」の全てに該当する場合)	24	29.3	19	38.8	9.5
21	創感染	11	13.4	7	14.3	0.9
22	リハビリテーションが必要な疾患が発症してから30日以内	33	40.2	25	51.0	10.8
23	脱水(舌の乾燥、皮膚の乾燥の両方ともみられるもの)	23	28.0	18	36.7	8.7
24	体内出血(持続するもの(例)「黒色便」、「コーヒー残渣様嘔吐」、「喀血」、「痔核を除く持続性の便潜血陽性」)	25	30.5	20	40.8	10.3
25	頻回の嘔吐(1日1回以上を7日間のうち3日以上)	21	25.6	17	34.7	9.1

26	褥瘡(2度以上又は2箇所以上)	14	17.1	9	18.4	1.3
27	うっ血性潰瘍(末梢循環障害による下肢末端の開放創:2度以上)	7	8.5	3	6.1	-2.4
28	せん妄の兆候	20	24.4	14	28.6	4.2
29	うつ状態	16	19.5	9	18.4	-1.1
30	暴行が毎日みられる状態	25	30.5	17	34.7	4.2
31	透析	8	9.8	4	8.2	-1.6
32	発熱または嘔吐を伴う場合の経管栄養(経鼻・胃瘻等)	27	32.9	19	38.8	5.8
33	喀痰吸引(1日8回以上)	31	37.8	24	49.0	11.2
34	気管切開・気管内挿管のケア	14	17.1	11	22.4	5.4
35	血糖チェック(1日3回以上の血糖チェックを7日間のうち2日以上実施)	23	28.0	17	34.7	6.6
36	皮膚の潰瘍のケア	11	13.4	6	12.2	-1.2
37	手術創のケア	7	8.5	2	4.1	-4.5
38	創傷処置	10	12.2	4	8.2	-4.0
39	足のケア(開放創、蜂巣炎・膿等の感染症)	13	15.9	7	14.3	-1.6

※「割合の差」で+10%以上に網掛け。

(2) 療養病床の転換意向について

転換意向ありの病院数の合計が内訳の病院数と合致していない。内容を確認して欲しい。(前回分科会資料「診調組 慢-2 別紙2」の10頁)

【回答】

内容を確認した結果、集計結果に間違いがあった。訂正結果を下表に示す。

■療養病床の転換意向(転換先別の意向あり施設数・病床数、n=20)

		意向あり 施設数	転換希望 延べ病床数
医療 保険	1 医療療養病床(病院又は診療所)	14	647
	2 (再掲)回復期リハビリテーション病棟	7	190
	3 (再掲)介護保険移行準備病棟	0	-
	4 一般病床	5	220
	5 (再掲)回復期リハビリテーション病棟	1	44
	6 (再掲)亜急性期病棟	1	10
	7 (再掲)特殊疾患療養病棟	0	-
	8 (再掲)障害者施設等入院基本料を算定する病棟	1	93
	9 精神病床	0	-
	10 (再掲)特殊疾患療養病棟	0	-
	11 (再掲)老人性認知症疾患治療病棟	0	-
	12 診療所(無床)	0	-
介護 保険	13 介護療養病床(病院又は診療所)	0	-
	14 (再掲)経過型介護療養病棟	0	-
	15 老人性認知症疾患療養病床	0	-
	16 介護老人保健施設	3	243
	17 介護老人福祉施設	1	53
	18 有料老人ホーム	0	-
	19 軽費老人ホーム(ケアハウス)	0	-
	20 グループホーム	0	-
そ の 他	21 廃止	1	38
	22 その他	1	50
全体		-	1,251

※82病院中、20病院に療養病床の転換意向の回答があった。転換先は複数回答である。

※20病院中、6病院は、H17.11 から H18.11 までの間に医療療養病棟の病床数の増減を行っている。

以上